

平成23年度景観重要建造物等保存事業費補助金に関するアンケート調査概要

1 調査目的

当該保存事業活用前後の景観重要建造物等とその周辺の景観について比較検討するために実施。

2 調査対象

- (1) 市民100人会(「市民協働のまちづくり」「文化・芸術の創造」の分野に関心のある方) 24人
- (2) 市内学生(秋田工業高等専門学校、秋田公立美術工芸短期大学) 22人

3 回答結果

回答者数 31人

4 調査概要

歴史的建造物写真(整備前後)を用いて実施。写真は建造物では対象のファサード(道に対するデザイン)とし、正面、左右からの3枚を基本として、周囲に対しては対象が入るように道全体が分かる写真を左右両方向から撮影。(図-1、図-2)

評価方法はSD法を採用し、評価尺度については、統一感、素材、スケールなど街路景観について13形容詞句対、保存事業対象建造物について9形容詞句対を選定し、7段階評価で実施。

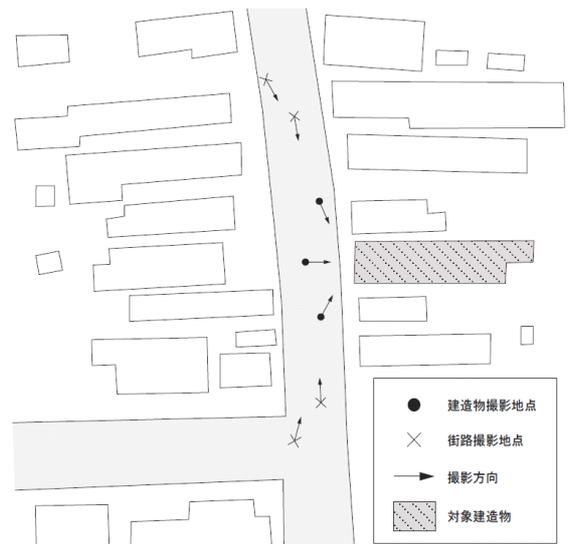


図-1 写真の撮影地点と方向

5 実施

秋田市都市整備部都市計画課

6 協力

本調査について、秋田工業高等専門学校の恒松准教授(秋田市景観形成専門部会委員)に調査内容、集計等について、ご協力をいただいている。



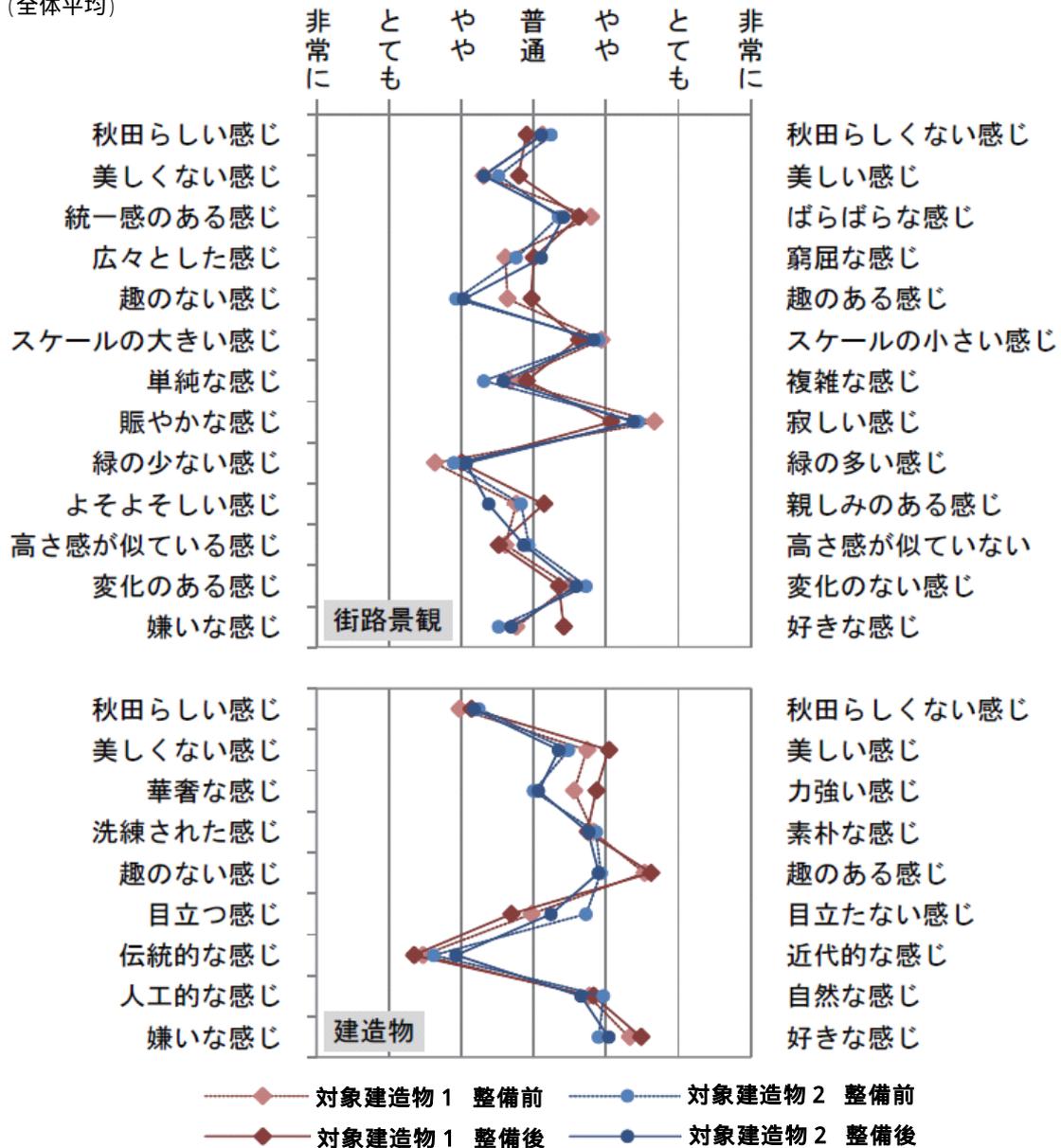
図-2-1 対象建造物1



図-2-2 対象建造物2

7 調査結果

(全体平均)



現段階の分析結果では、実施されている事業がまだ屋根の葺き替えのみであること、サンプル数の少なさ、年代などによる価値観の違い、写真の撮り方や撮影の時間帯などにより、回答にばらつきがあり十分な結果が得られなかった。今後これらの点について検討し、改善しながら調査を実施したいと考えている。